

学校の様子（人間と社会 都立小金井公園フィールドワーク）

10月11日（水）午後、1年生は、人間と社会「支え合う社会」の授業の一環として、都立小金井公園の災害時に対応する施設や器具などを調査・確認するフィールドワークを行いました。

各クラスを6班に分け、小金井公園を6地区に分け、それぞれの班の分担となる区域を定めます。それぞれ分担の区域内にある次の4項目について確認します。

- （ア）公園内の防災に役立つ施設・看板・設備等
- （イ）日常生活や災害避難時に、幼児やお年寄りが近寄ると危険だと考えられる箇所
- （ウ）地震や大雨、台風等で倒壊等の恐れのあるもの
- （エ）避難するときに目印となる施設・看板・設備等

10月4日（水）に、各教室で動画を使用した事前準備を行い、6日（金）は、避難所運営ゲームやAED体験、消火器体験、避難所設営体験、避難所への誘導体験を実施していますので、実際の施設や器具を見ることで、より自分事となることをねらいます。

秋晴れの心地よい空気の中、生徒たちは、班の仲間と楽しく会話をしつつ、広い公園の中でその施設がどこにあるのか探していました。



災害対応型自動販売機



防災井戸ポンプ



マンホールトイレ用のマンホール



かまどベンチ



ソーラーパネル付き照明



コスモスも咲いて、癒されます。

生徒たちは、災害に対応する施設を見つけ、写真を撮ります。今後の人間と社会の時間に、クラスごとにハザードマップを作成していきます。

今年度も、都立小金井公園管理事務所の皆様のご協力があって、このフィールドワークを行うことができました。ありがとうございました。

[小金井公園の防災施設マップ](#)



公園内には、視覚障害の方向けに、点字を使った
触知案内図もあちこちに設置されていました。